

財 広 平 祈 4 号  
令和 4 年 4 月 1 日

支出負担行為担当官  
厚生労働省健康局長 殿

公益財団法人  
広島平和文化センター理事長



国立広島原爆死没者追悼平和祈念館運営事業  
に係る事業実績報告書等の提出について

標記について、令和 3 年 4 月 1 日付けで締結した委託契約書第 18 条の規定に  
基づき関係書類を添えて提出します。

- 1 委託費精算額 金 282,294,286 円
- 2 事業実績報告書 (別紙 1 のとおり)
- 3 委託費事業費精算書 (別紙 2 のとおり)
- 4 添付書類  
令和 3 年度 広島祈念館経理計画と決算額との差



事 業 実 績 報 告 書

1 事業の実施結果

別添のとおり

2 事業の実施期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

令和3年度

# 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

## 運営委託事業報告書



令和4年3月

公益財団法人広島平和文化センター

## 目 次

1	入館者状況	2
2	原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開	2
3	被爆体験記の収集・整理・公開	3
4	企画展の開催	4
5	被爆体験記執筆補助	5
6	被爆者証言ビデオ（広島県外在住被爆者）制作	5
7	多言語化対応事業	6
8	被爆体験記の朗読事業	6
9	被爆体験伝承者等派遣事業	7
10	被爆体験伝承者等に対する語学等の研修	7
11	修学講習の実施	7
12	広島平和学習セミナーの開催	8
13	インターネットによる情報提供	8
14	情報展示システムの保守・管理および情報展示コーナーの実施設計	9
15	来館者増加対策等	9
16	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組み	9
17	入館者からの感想や意見・要望等	10
18	参考	14

## 令和3年度 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の事業実施状況

### 1. 入館者状況

開館（平成14年8月）以来、令和4年3月末までの入館者数は、4,724,289人となっており、同期間の平和記念資料館入館者（24,885,592人）の19.0%である。【過去3年間の月ごとの入館者数を10ページに記載】

（参考）年度別入館者数

区分	入館者数	1日平均入館者数	対前年比	外国人 <sup>(注)</sup> （内数）	
				入館者数	対前年比
令和元年度	379,163人	1,142人	87.4%	145,233人	91.2%
令和2年度	69,413人	280人	18.3%	4,195人	2.9%
令和3年度	62,058人	297人	89.4%	3,672人	87.5%
累計	4,724,289人	—	—	—	—

（注）外国人入館者数とは、総合案内において外国語版のリーフレット又はチラシを配布した人数を集計している（平成24年度から集計開始）。

令和3年度は新型コロナウイルス感染予防及び拡散防止のため、令和3年5月10日から6月20日まで、令和3年8月7日から9月30日まで、令和4年1月9日から3月6日までの3回（42日、55日、57日の計154日）を臨時休館とした。

### 2. 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開

広島県内各市町での葬祭料給付申請時や、平和記念式典への参列案内時に遺影登録の案内をするほか、8月6日に原爆死没者名簿への登載確認等との共同窓口を設置している。

また、被爆者証言ビデオの収録や被爆体験記執筆補助事業などの機会をとらえ、登録申請を呼びかけた。さらに、著名人の遺影登録に際し、マスコミに情報提供するなど遺影登録の周知を図った。

（参考）年度別登録状況

区分	原爆死没者数（登録数）	対前年比
令和元年度	769人	113.6%
令和2年度	650人	84.5%
令和3年度	753人	115.8%
累計	25,192人	—

### 3. 被爆体験記等の収集・整理・公開

被爆者の高齢化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新規収集が困難な状況となったが、広報紙への掲載やマスコミへの情報提供のほか、被爆者証言ビデオ収録などの機会をとらえて被爆体験記の提供を呼びかけるとともに、体験記執筆補助事業（平成18年度開始）により収集に努めた。また、新聞等に掲載された被爆体験記の記事を確認し、発行者等へ照会して、寄贈又は購入の依頼を行った。

収集した被爆体験記については、より一層の活用を図るため、データベース化、イメージデータ化及びテキストデータ化を推進し来館者の利便性の向上を行った。

(参考) 年度別被爆体験記収集状況

区分	体験記収集数（編）					図書収集（冊）		公開数 <sup>(注1)</sup> （編）
	H7 厚生省	H17 厚労省	H27 厚労省	独自収集	計	購入	寄贈	
令和元年度	0	0	▲5	74	69	142	83	139
令和2年度	0	0	▲11	57	46	126	85	219
令和3年度	▲1	0	▲2	51	48	154	72	686
累計	81,204	11,778	11,333	3,487	107,802	2,281	3,258	148,328

(注1) 被爆体験記として収集後、内容を整理・精査し登録対象外とする場合があり、また収集年度と公開年度が異なる場合があるため、各年度の収集数と公開数は一致しない。

(参考) 被爆体験記のデータベース化等の進捗状況

区分	編数	割合
館内公開体験記数	148,328	—
データベース化 <sup>(注2)</sup>	143,197	96.5%
イメージデータ化 <sup>(注3)</sup>	107,738	—
テキストデータ化 <sup>(注4)</sup>	2,988	—

(注2) データベース化とは、来館者が閲覧を希望する被爆体験記を容易に検索できるよう、被爆体験記に書かれている情報に基づき、被爆者の氏名、年齢、所属及び被爆場所、登場する人物、場所及び時期などを、職員が分類・整理し、システムに登録する作業をいう。

(注3) イメージデータ化とは、館内公開している被爆体験記を、展示端末画面で容易に閲覧できるよう、被爆体験記をスキャンしてシステムに登録することをいう（平成24年度から実施）。

(注4) テキストデータ化とは、被爆者が書いた被爆体験記を読みやすく、また、将来、多種多様なキーワードにより検索が可能となるよう、被爆体験記を文字入力する作業をいう（平成24年度から本格的に実施：令和3年度2,988編、令和2年度2,547編、令和元年度2,288編）。

#### 4. 企画展の開催

情報展示コーナー（地下1階）において、毎年定めるテーマに沿って企画展を開催する。関連資料を展示し、被爆体験記をディスプレイで閲覧できるようにするとともに、被爆者の証言映像及び被爆者自身が描いた「原爆の絵」等を交えた映像作品を制作し上映する。

また、映像資料はインターネットに掲載するとともに、平和学習資料としてDVDや資料の貸出を行っている。

(1) 「震えるまなざし — 撮影者たちが残したことば —」

期間：令和4年3月1日(火)～令和4年12月29日(木)

概要：軍所属のカメラマン、写真店の店主、新聞社に勤務する中学生等、全く異なる職業や立場の撮影者たちが、目をそらしたくなる気持ちを押し殺しながら、ファインダーに映る被爆後の悲惨な状況をいかにしてフィルムに収めたのか。そしてその体験を、彼らの鋭い描写力でどのようにことばに表したかを明らかにする。

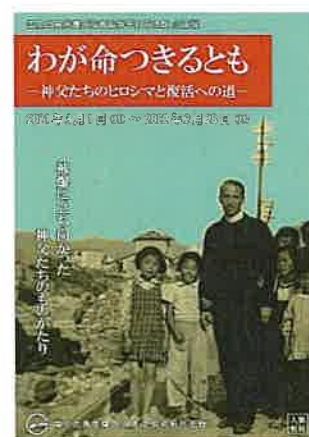
〔実際にキノコ雲を写したカメラ等を展示すると共に撮影者たちの体験記を公開〕



(2) 「わが命つきるとも — 神父たちのヒロシマと復活への道 —」

期間：令和3年3月1日(月)～令和4年2月28日(月)

概要：被爆当日、イエズス会の幟町教会（爆心地から約1.2キロ）にいた4人の外国人神父たちの被爆後の状況を克明に描いた体験記等を通して、ヒロシマの復活への道をたどる。



## 5. 被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲がありながら高齢等により体験記の執筆が困難な広島県内の被爆者を対象に、職員による聞き取りと代筆を行った。(平成18年度開始)

(参考) 年度別実施状況

区分	応募数	実施者数	辞退数 (体調不良等)
令和元年度	13人	11人	3人
令和2年度	9人	6人	4人
令和3年度	10人	9人	1人
累計	195人	169人	28人

※ 令和元年度及び令和2年度の実施者には前年度応募者1名ずつ含む。



被爆当時の地図などを見ながら被爆体験を聞き取りします

## 6. 被爆者証言ビデオ制作

被爆者団体等から推薦された広島県外在住の被爆者を対象に、長崎祈念館と協力(長崎被爆者については長崎祈念館が収録・編集を担当)し、その体験談をビデオに収録(令和3年10月～令和4年1月)し、編集作業を行った。制作した証言ビデオについては、令和4年5月から館内の体験記閲覧室で公開する。



カメラを前に被爆体験を語っていただきます

(参考) 年度別制作状況

区分	実施人数	収録都道府県
令和元年度	18人	福島1人、埼玉2人、東京3人、神奈川8人、愛知4人
令和2年度	5人	京都1人、大阪1人、兵庫3人
令和3年度	21人	山口1人、鳥取3人、愛媛4人、岡山5人、大阪1人、千葉3人、東京4人
累計	405人	45都道府県で収録(広島県及び長崎県を除く。)

また国外在住の被爆者証言ビデオの制作については、令和2年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国外における収録対象者の確保・調整が困難であったことから、制作できなかった。



(参考) 年度別制作状況

区分	実施人数	国・地域
令和元年度	5人	アメリカ (5人)
令和2年度	-	実施していない
令和3年度	-	実施していない
累計	67人 (68本)	韓国 (34人)、台湾 (4人)、アメリカ (18人)、アルゼンチン (1人)、オーストラリア (1人)、カナダ (2人) (うち1人は日本語、英語で2本収録)、ブラジル (5人)、メキシコ (2人)

## 7. 多言語化対応事業

海外から来館するさまざまな国や地域の人に、母国語で被爆の実相を伝えるため、令和3年度は被爆者証言ビデオの証言内容を英語、中国語、アラビア語、イタリア語、クロアチア語、スペイン語、タイ語、ドイツ語、ハンガリー語、ヒンディー語、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語、ロシア語の14言語に翻訳した。また、被爆体験記をフィンランド語に翻訳した。(証言ビデオの字幕及び体験記の翻訳言語数は24言語)

(多言語化の詳細を11ページに記載)

## 8. 被爆体験記の朗読事業

収集した被爆体験記を活用し、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを語り継ぐことを目的に平成17年度から実施している。修学旅行生や市内の学校などを対象とした朗読会、毎月第3日曜日に開催する定期朗読会、8月5日、6日の朗読会、市内近郊への出前朗読会も開催した。また、全国で朗読会を開催したいとの要望に応えるため、朗読セットを国内15団体へ貸し出した。



広島市内での朗読会

(参考) 年度別開催状況

(単位：回)

区分	定期	集中開催 5/3-5, 8/5-6	広島市内	原爆展	英語朗読 (英語定期含む)	計
令和元年度	22	13	94	国内2海外2	41	174
令和2年度	14	4	32	開催なし	※ 0	50
令和3年度	12	13	34	開催なし	2	61

※ 新型コロナウイルスの影響により、来日する外国人が減少したことから英語での定期朗読会は当面開催を中止している。

## 9. 被爆体験伝承者等の派遣

被爆の実相、平和への想いを日本全国の次世代に語り継ぐために、「被爆体験伝承者」と「被爆体験記朗読ボランティア」を、平成30年度から国内の学校等へ無料で派遣し、被爆体験伝承講話及び被爆体験記朗読会を実施している。令和2年度から「被爆体験証言者」の派遣も開始した。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策を行った上で全国に203件（証言講話9件、伝承講話186件、朗読会8件）派遣した。この派遣による講話及び朗読会において延べ約2万3千人の児童・生徒等が聴講した。

（参考）地域別派遣件数 （単位：件）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
件数	5	1	42	20	107	19	6	3	203

（参考）申込団体別派遣件数及び聴講者数 （単位：件・人）

区分	小学校	中学校	高等学校	大学	自治体	その他	計
件数	120	49	26	1	3	4	203
聴講者数	9,370	8,428	4,972	43	320	85	23,218

## 10. 被爆体験伝承者等に対する語学等の研修

新型コロナウイルス感染拡大の影響により被爆体験伝承者等の海外派遣を実施できなかったため、研修は実施しなかった。

### 11. 修学講習の実施

被爆体験の次の世代への継承と平和意識の高揚を図るため、修学旅行などで広島を訪れた児童・生徒等を対象に、被爆者による被爆体験講話等を内容とする講習を追悼平和祈念館研修室で行った。

（参考）令和3年度実施状況 （単位：件・人）

区分	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	57	21	9	11	98
聴講者数	1,531	570	243	122	2,466
1団体あたりの平均聴講者数	26.86	27.14	27.00	11.09	25.16

## 12. 広島平和学習セミナーの開催

令和元年度まで、平和学習を目的とする多くの修学旅行生に来館してもらうため、広島市と共同で学校関係者及び旅行会社（教育旅行部門）を対象に、広島での平和学習や体験学習などを紹介する広島平和学習セミナーを開催していた。令和3年度は広島市主催の平和学習講習会に参加する形で、祈念館で実施している平和学習の紹介を行った。

(参考) 年度別開催状況

区分	開催都市		参加者
令和元年度	東京都	令和元年8月21日	25人
	名古屋市	令和元年8月22日	13人
令和2年度	開催していない		
令和3年度	オンライン ※広島市主催の平和 学習講習会として	令和4年8月16日	114人

## 13. インターネットによる情報提供

当館の事業内容を、ホームページで広く情報提供するとともに、外部提供について同意の得られた被爆体験記及び被爆者証言ビデオを、順次、ホームページ（平和情報ネットワーク <http://www.global-peace.go.jp/>）に掲載し情報発信した。

(参考) ホームページ公開状況

グローバルネットワーク（平和情報ネットワーク）掲載本数及び編数

区分	被爆体験記				総掲載編数	証言ビデオ				総掲載本数
	H30年度まで	H31年度	R2年度	R3年度		H30年度まで	H31年度	R2年度	R3年度	
1 日本語	841	26	49	141	1,057	611	27	39	11	688
2 英語	133	20		18	171	156	6	1	2	165
3 中国語	102	13		5	120	156	2		2	160
4 韓国・朝鮮語	102	12		5	119	168	2	1		171
5 アラビア語	9				9	6	1	1	3	11
6 イタリア語	9				9	10		1		11
7 インドネシア語	9				9	5				5
8 ウルドゥ語	9				9	5				5
9 オランダ語	9				9	6				6
10 ギリシャ語	6		3		9					0
11 クロアチア語					0	2	1	1		4
12 スウェーデン語	9				9	3				3
13 スペイン語	9				9	12		2	1	15
14 スロベニア語					0	6				6
15 タイ語	9				9	3				3
16 ドイツ語	9				9	34	4	3	2	43
17 ノルウェー語	5		4		9					0
18 ハンガリー語	2				2	5	1	2	1	9
19 ヒンディー語	9				9	4		1	2	7
20 フィリピン語	9				9	3				3
21 フィンランド語	6			3	9					0
22 フランス語	9				9	32	3	1		36
23 バトナム語	9				9					0
24 ポーランド語	9				9	2		1		3
25 ポルトガル語	9				9	9		1	1	11
26 マレー語	9				9	3				3
27 モンテネグロ語	2				2					0
28 ロシア語	9				9	10	1		2	13
合計	1,352	71	56	172	1,651	1,251	48	55	27	1,381

(参考) 平和情報ネットワーク総アクセス件数

区分	総アクセス件数
令和元年度	5,526,862
令和2年度	3,978,834
令和3年度	5,360,976

※ 平和情報ネットワークは、広島・長崎両館が合同で運営している。

#### 14. 情報展示システムの保守・管理および情報展示コーナーの実施設計

来館者へのサービス向上及びシステムの安全性・信頼性を確保するため、情報展示システムの保守・管理を行った。

また、令和5年度の情報展示システム機器更改に向けて調査研究を行うとともに、情報展示コーナーの実施設計を行った。

#### 15. 来館者増加対策等

感想ノート等により、来館者の声に耳を傾け、来館者サービスの向上を図るとともにあらゆる機会を捉え、広報紙、ホームページや新聞等のマスコミを通じてPRに努めた。

#### 16. 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組み

臨時休館：3回、合計154日間

令和3年5月10日から6月20日まで（42日）

令和3年8月7日から9月30日まで（55日）

令和4年1月9日から3月6日まで（57日）

開館期間中は次のとおり対策を講じた

- ・南側出入口を入口専用、北側を出口専用とし、一方通行の動線とした。
- ・入館の際、検温、手指消毒を実施。
- ・展示端末の稼働を38台から20台に減らし、ヘッドホンは使用禁止とした。  
タッチパネルを操作する際に手指消毒を実施。

## 17. 入館者からの感想や意見・要望等

広島祈念館における入館者からの感想や意見・要望等

### 1. 概 要

平成14年9月から「感想ノート」を置き、入館者に感想や意見等を自由に記入してもらっている。

通常は、外国語（英語、韓国・朝鮮語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語等）の記述が多く見受けられるが、令和3年度は、3回の休館及び海外からの旅行者激減により、外国語での記述は少なかった。

### 2. 主な意見・要望等

#### (1) 施設について

- 入館者が少ないこと。

#### (2) 展示について

- 展示はきれいで実感が伝わらない。

### 3. 感 想

- 「わが命つきるとも」は大変大きな衝撃を与えました。戦後広島に生まれ、姉や祖母も原爆で亡くしましたが、(戦前はこの中島町に住んでいました。)多くのことを家族や周囲の人たちから聞いてきましたがこのフィルムほど、くわしく聞いたことはありませんでした。国籍をこえ、救命にあられた神父様たちに深く敬意を払います。多くの方々がこのフィルムを見て下さいますように。

- 私は原爆投下1ヶ月後に産まれました。母は臨月真近のお腹をかかえて逃げまどったと言っておりました今の本通りに商店を持っていた祖母や親類は皆亡くなりました。祖母の骨は一片も見つかりませんでした原爆が落ちてなかったら皆の人生は違っていただろうと思います。
- あたり前の平和をあたり前にしないため、私達は何ができるのでしょうか？広島で原爆の犠牲になった人は日本人だけではないことが改めてわかりました。「本当にそんなことがおきるの？」というくらい恐ろしい出来事だということが分かった。日本人だけでなく、外国人も同じように人々を助ける為、活動して誰でも原爆の被害をみたのであれば、きっとみな平等に悲しいのではと思いました。

思いだしたくもない辛い出来事を残し未来へつなげてくれてありがとうございます。二度と同じあやまちをおこさないよう、平和を祈ります。

- I am an American with Japanese family. Before Pearl Harbor my grandmother lived a normal life with her parents who immigrated from Japan. Her father's sister also lived in Pearl Harbor with them. After the attack, all Japanese people were either to be rounded up and relocated to camps, or be sent back to Japan. Many chose to return rather than suffer through internment camps. My grandmother and her parents decided to stay. However, his sister and her family moved back to their home city of Hiroshima. My great grandfather's sister and all of his family here died in the bombing. His ashes were brought back after his death. This memorials allowed me to see

some of the family I never got to meet.

日本人の家族がいるアメリカ人です。真珠湾攻撃前、私の祖母は日本から移民した両親と共に普通の生活を送っていました。祖母の父の妹も、彼らとともに真珠湾に住んでいました。真珠湾攻撃以後、全ての日本人は逮捕されたり、強制収容所に入れられたり、日本に送還されたりしました。多くが収容所での辛い生活を送るよりも日本に戻ることを選びました。私の祖母と彼女の両親は現地に残ることを選びましたが、妹と彼女の家族は、故郷である広島に戻りました。私の曾祖父の妹と関係する家族は皆、原子爆弾の犠牲になりました。曾祖父の死後、遺骨は日本に戻りました。この追悼祈念館で、私はこれまで直接はあったことのない家族に会うことができました。世界平和を祈ります。

- When I see the memorials and the accounts of the survivors, I wonder why we still have nuclear weapons today? Just to show how strong a country is against a threat that may never come? There is a saying: “An eye for an eye makes the whole world blind.” I think it was Mahatma Gandhi who said it.

I pray that the victims and survivors and their families find peace. I pray that nuclear weapons will be eradicated in my lifetime, and that we will no longer live in fear of total war started by Great Powers and their hunger for supremacy.

原爆犠牲者の遺影を見たり、体験記を読んで、なぜ今だに我々は原子爆弾を持っているのかと不思議に思っている。やってくるはずもない脅威に対して、

ただ国の威力を見せつけるためだけなのでは。マハトマ・ガンディーが残した「目には目を、でいけば全世界は盲目になるだけだ」という言葉がある。犠牲者や、被爆者、彼らの家族に平和が訪れることを祈る。私の生きているうちに核兵器が廃絶されることを祈る。そうすれば、大国が利権争いのために始める全面戦争という脅威の中で生活しなくてもよくなるのだから。



18. 参考

〈資料1〉

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の入館者数（過去3年間の月ごと）について

【平和記念資料館比較】

令和元 年度

区 分		祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比
H31	4月	52,216	180,830	28.9 %	117.9 %
R 元	5月	48,616	241,864	20.1 %	94.3 %
	6月	32,484	150,107	21.6 %	91.6 %
	7月	29,592	130,919	22.6 %	101.5 %
	8月	43,305	213,606	20.3 %	98.4 %
	9月	36,290	164,579	22.1 %	98.1 %
	10月	46,382	237,213	19.6 %	95.7 %
	11月	37,643	197,984	19.0 %	87.9 %
R 2	12月	19,681	94,291	20.9 %	86.5 %
	1月	17,805	79,230	22.5 %	84.7 %
	2月	15,149	68,123	22.2 %	76.0 %
	3月	0	0	0.0 %	0.0 %
合計		379,163	1,758,746	21.6 %	87.4 %
累計		4,592,818	24,151,004	19.0 %	—

令和2 年度

区 分		祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比	資 料 館 対前年度比
R2	4月	0	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	5月	0	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	6月	1,636	9,314	17.6 %	5.0 %	6.2 %
	7月	3,920	19,797	19.8 %	13.2 %	15.1 %
	8月	7,244	40,427	17.9 %	16.7 %	18.9 %
	9月	10,153	38,362	26.5 %	28.0 %	23.3 %
	10月	11,448	66,339	17.3 %	24.7 %	28.0 %
	11月	19,486	85,199	22.9 %	51.8 %	43.0 %
R3	12月	5,162	27,462	18.8 %	26.2 %	29.1 %
	1月	0	404	0.0 %	0.0 %	0.5 %
	2月	2,962	7,037	42.1 %	19.6 %	10.3 %
	3月	7,402	34,249	21.6 %	%	%
合計		69,413	328,590	21.1 %	18.3 %	18.7 %
累計		4,662,231	24,479,594	19.0 %	—	—

令和3年度

区 分		祈念館	資料館	割合	祈 念 館 対前年度比	資 料 館 対前年度比	
R3	4月	5,054	20,158	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	5月	2,294	15,337	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	6月	1,455	6,615	22.0 %	88.9 %	71.0 %	
	7月	6,603	39,644	16.7 %	168.4 %	200.3 %	
	8月	1,948	9,643	20.2 %	26.9 %	23.0 %	
	9月	0	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	10月	9,637	67,337	14.3 %	84.2 %	101.5 %	
	11月	15,037	107,564	14.0 %	77.2 %	126.3 %	
	12月	9,719	77,496	12.5 %	188.3 %	282.2 %	
	R4	1月	2,311	16,864	13.7 %	0.0 %	4.174.3 %
		2月	0	0	0.0 %	0.0 %	0.0 %
		3月	8,000	45,329	17.6 %	%	%
合計		62,058	405,987	15.3 %	89.4 %	123.6 %	
累計		4,724,289	24,885,592	19.0 %	—	—	

〈資料2〉多言語化の状況

7.多言語化対応							
区分	被曝体験記	証言ビデオ					リーフレット 翻訳言語状況
		翻訳編数 (A)	(A)のうち R3年度新規 追加(作成)編数	字幕付本数 (B)	(B)のうち R3年度新規 追加(作成)本数	吹替え本数 (C)	
1	英語	432	24	806	2	105	○
2	中国語	350	22	164	2	105	○
3	韓国・朝鮮語	349	22	161		105	○
4	アラビア語	9		10	1		○
5	イタリア語	9		11	1		○
6	インドネシア語	9		5			○
7	ウルドゥー語	9		5			○
8	オランダ語	9		3			○
9	ギリシャ語	9					
10	クロアチア語			4	1		
11	スウェーデン語	9		3			○
12	スペイン語	9		14	1		○
13	スロベニア語			6			
14	タイ語	9		5	2		○
15	ドイツ語	9		38	2		○
16	ノルウェー語	9					
17	ハンガリー語			9	2		
18	ヒンディー語	9		7	2		○
19	フィリピン語	9		5	2		○
20	フィンランド語	9	3				
21	フランス語	9		30			○
22	ヘブライ語	9		5			○
23	ベトナム語	9		5	5		○
24	ポーランド語	9		6			○
25	ポルトガル語	9		11	1		○
26	マレー語	9		3			○
27	ロシア語	9		8	2		○
	合計編・本数(作成)	1,320	71	1,324	26	315	0
	合計言語数(作成)	24	4	24	14	3	0
							21

〈資料3〉令和3年度新聞記事一覧

1	<a href="#"><u>被爆すずりに名和典さんどこに【中国(R3.4.3)】</u></a>
2	<a href="#"><u>原爆資料館入場 81%減【中国(R3.4.8)】</u></a>
3	<a href="#"><u>平和資料館入館者 8割減【読売(R3.4.8)】</u></a>
4	<a href="#"><u>追悼祈念館で企画展【読売(R3.4.15)】</u></a>
5	<a href="#"><u>不明生徒の最後 兄が手記【中国 (R3.4.22)】</u></a>
6	<a href="#"><u>被爆歌人・正田篠枝の遺影登録【毎日(R3.4.28)】</u></a>
7	<a href="#"><u>正田篠枝の遺影を登録【中国(R3.4.28)】</u></a>
8	<a href="#"><u>原爆資料館など休館 広島市【中国(R3.5.8)】</u></a>
9	<a href="#"><u>歌人・正田篠枝の遺影登録【朝日(R3.5.11)】</u></a>
10	<a href="#"><u>原爆資料館が臨時休館 他施設も順次【中国 (R3.5.11)】</u></a>
11	<a href="#"><u>聖火 周辺立ち入り規制【中国 (R3.5.15)】</u></a>
12	<a href="#"><u>深川宗俊の遺影登録【中国(R3.5.19)】</u></a>
13	<a href="#"><u>「命のリレー」聖火に重ね【朝日(R3.5.22)】</u></a>
14	<a href="#"><u>被爆者で歌人 深川宗俊【毎日(R3.5.31)】</u></a>
15	<a href="#"><u>被爆体験記づくりのお手伝い【市民と市政(R3.6.1)】</u></a>
16	<a href="#"><u>今夏「宣言」骨子 被爆者ら議論【毎日(R3.6.13)】</u></a>
17	<a href="#"><u>サカスタ用地に被爆遺構【中国(R3.6.15)】</u></a>

18	<a href="#">原爆資料館 21 日再開【中国(R3.6.18)】</a>
19	<a href="#">逆境でも歌で希望を【中国(R3.6.19)】</a>
20	<a href="#">原爆資料館が再開【中国(R3.6.22)】</a>
21	<a href="#">「黒い雨」の気象を再現【中国(R3.7.10)】</a>
22	<a href="#">バッハ会長 16 日広島へ【中国(R3.7.14)】</a>
23	<a href="#">配属直後の被爆で犠牲【中国(R3.7.14)】</a>
24	<a href="#">バッハ氏来訪 異例厚遇【中国(R3.7.15)】</a>
25	<a href="#">バッハ会長広島で訴え 一時閉館【中国(R3.7.17)】</a>
26	<a href="#">犠牲者の歴史刻む場に【中国(R3.7.18)】</a>
27	<a href="#">被爆体験 聞き取り【中国(R3.7.21)】</a>
28	<a href="#">被爆証言代筆事業【毎日(R3.7.26)】</a>
29	<a href="#">最後の記録 眠ったまま【中国(R3.7.30)】</a>
30	<a href="#">閲覧 遺族すら許されず【中国(R3.8.1)】</a>
31	<a href="#">8 月 6 日関連行事【市民と市政(R3.8.1)】</a>
32	<a href="#">追悼平和祈念館は 7 日から休館【毎日(R3.8.4)】</a>
33	<a href="#">「母の背」今語り継ぐ【毎日(R3.8.5)】</a>
34	<a href="#">広島市 468 施設休刊延長【中国 (2021.9.11)】</a>
35	<a href="#">原爆資料館きょう再開【中国(R3.10.1)】</a>

36	<a href="#"><u>供養塔遺骨やっど帰宅【中国（R3.10.25）】</u></a>
37	<a href="#"><u>遺骨1柱遺族に引き渡し【毎日(R3.10.29)】</u></a>
38	<a href="#"><u>被爆2世父知る旅へ 娘がたどる父の被爆【毎日(R3.11.28)】</u></a>
39	<a href="#"><u>年末年始市内の主な施設の休み、求人情報【市民と市政(R3.12.15)】</u></a>
40	<a href="#"><u>岡田さんの遺影登録【毎日(R3.12.30)】</u></a>
41	<a href="#"><u>ヒロシマの記録2021 1～6月【中国新聞(R3.12.31)】</u></a>
42	<a href="#"><u>広島市立287施設を休館【中国(R4.1.9)】</u></a>
43	<a href="#"><u>無限の証人 形見の手紙家族愛深く「姉ヨリ」【中国(R4.1.10)】</u></a>
44	<a href="#"><u>「エリザベト音大と歩いて③」【中国(R4.2.23)】</u></a>
45	<a href="#"><u>被爆直後の広島撮影 6人の遺影を登録 平和祈念館【中国(R4.2.23)】</u></a>
46	<a href="#"><u>巨大きのご雲県北でも鮮明【中国(R4.2.27)】</u></a>
47	<a href="#"><u>きのご雲撮影カメラを展示【中国(R4.3.5)】</u></a>
48	<a href="#"><u>広島市施設再開へ【中国(R4.3.5)】</u></a>
49	<a href="#"><u>被爆直後 活写の葛藤 中区撮影者の言葉企画展【読売(R4.3.15)】</u></a>
50	<a href="#"><u>サッカー元代表志半ば被爆死【中国(R4.3.19)】</u></a>
51	<a href="#"><u>広島市異動【中国(R4.3.19)】</u></a>
52	<a href="#"><u>原民喜しのび反戦詩朗読【中国(R4.3.27)】</u></a>

53	<a href="#">平和祈念館に被爆体験文集【中国(R4.3.28)】</a>
54	<a href="#">南方特別留学生 被爆死 大叔父の足跡知った【朝日(R4.3.29)】</a>

## 別紙2

## 委託費事業費精算書

区 分	支出済額 (A)	収入済額 (委託費以外) (B)	差引額 (A) - (B) (C)	契約額 (D)	委託費所要額 (E)
R3年度 国立広島原爆死没者 追悼平和祈念館運営 事業	円 282,296,666	円 2,380	282,294,286	円 326,849,000	円 282,294,286

(注) E欄は、C欄とD欄の額とを比較して少ない方の額を記入すること。

収入科目	収入済額 (円)	積算内訳 (収入科目の内容)
雑収入	2,380	複写サービス料金

## 支 出 済 額 内 訳

支出科目	支出済額 (円)	備考
報酬	33,972,782	※別添内訳書のとおり
職員給与	29,183,041	
給 料	12,491,973	
扶養手当	156,000	
地域手当	1,520,994	
住居手当	626,400	
通勤手当	110,950	
管理職手当	0	
期末勤勉手当	10,839,821	
時間外勤務手当	3,436,903	
福利厚生費	12,056,790	
賃 金	10,957,464	
報償費	2,229,760	
旅 費	6,521,500	
消耗品費	3,495,399	
燃料費	0	
食糧費	8,822	
光熱水費	13,216,024	
修繕料	38,945,940	
通信運搬費	1,161,779	
手数料	33,600	
保険料	348,610	
委託料	95,106,673	
使用料及び賃借料	25,689,182	
備品購入費	0	
負担金、補助及び交付金	0	
公課費	9,369,300	
計	282,296,666	



内訳書

(6)	被爆体験伝承者等派遣事業	976,800
	ア 被爆体験伝承者等派遣オンライン予約システム保守・運用業務	976,800
(7)	インターネットによる情報提供業務	568,040
	ア ホームページ運用保守業務	509,960
	イ ホームページバナー等設定業務	58,080
(8)	情報システム保守管理等	22,486,354
	ア 情報システム運用保守業務	7,307,454
	イ 情報システム機器更改調査研究業務	5,478,000
	ウ 情報展示システム改修業務	4,200,900
	エ 情報展示コーナー改修に伴う実施設計業務	5,060,000
	オ 図書検索システム改修等業務	440,000
(9)	館内案内デジタルサイネージ制作業務	2,059,701
(10)	3Dコンテンツ制作等業務	1,978,900
(11)	ソフトウェア契約等業務	140,140
(12)	保守点検業務	41,418,157
	ア 常駐警備業務	20,562,233
	イ 機械警備業務	242,880
	ウ 臨時警備(単価契約)	108,260
	エ 清掃業務	6,941,000
	オ 環境衛生管理業務	480,000
	カ 固形状一般廃棄物等処理回収運搬業務	184,800
	キ 周辺樹木等保守管理業務	660,000
	ク 汚水槽及び雑排水槽清掃業務	836,000
	ケ 電話交換機設備保守点検業務	330,000
	コ 原本保管庫等保守点検業務	572,000
	サ 建築物及び建築設備点検	363,000
	シ 自家用電気工作物保安業務	422,400
	ス 自家発電設備保守点検業務	594,000
	セ 直流電源設備保守点検業務	132,000
	ソ 音響設備保守点検業務	330,000
	タ 照明設備保守点検業務	495,000
	チ 自動ドア設備保守点検業務	528,000
	ツ 昇降機設備保守点検業務	2,604,360
	テ 消防用設備等保守点検業務	396,000
	ト 空気調和機設備等保守点検業務	550,000
	ナ 高所作業リフト保守点検業務	119,130
	ニ 中央監視設備保守点検業務	990,000
	ヌ 給排水設備保守点検業務	484,000
	ネ その他施設の保守管理等に係る業務(不特定分)	2,493,094
(13)	入館者受付・案内等	5,720,286
	ア 総合案内業務	5,577,286
	イ 入退館者管理設備保守点検業務	143,000
(14)	職員福利厚生関係(健康診断費等)	217,272
15	使用料及び賃借料	25,689,182
(1)	新聞社所蔵写真使用料	52,440
(2)	施設維持管理用	370,788
	ア 玄関マット借上料	92,400
	イ 観葉植物借上げ業務	278,388
(3)	OA機器関係	25,139,041
	ア 館内LANシステム借上料	24,632,082
	イ 財務会計端末借上料	506,959
(4)	館名表示板設置公園使用料	14,077
(5)	執筆補助業務会場借上料	5,000
(6)	その他	107,836
	ア タクシー借上料	52,690
	イ NHK受信料	24,446
	ウ CATV視聴料	26,400
	エ 出張に係る高速料金	4,300
16	公課費	9,369,300
(1)	収入印紙	233,900
(2)	消費税・地方消費税	9,135,400
合計		282,296,666

## 内訳書

別添

(単位:円)

支出科目		決算額
1	報酬(OB職員4名、嘱託職員7名)	33,972,782
2	職員給与(派遣職員1名、財団職員4名)	29,183,041
	(1) 給料	17,189,945
	(2) 諸手当	11,993,096
	ア 扶養手当	156,000
	イ 地域手当	1,734,594
	ウ 住居手当	626,400
	エ 通勤手当	165,700
	オ 管理職手当	0
	カ 期末勤勉手当	7,683,448
	キ 時間外勤務手当	1,626,954
3	福利厚生費	12,056,790
	(1) 市派遣職員分(1名)	1,867,889
	ア 共済年金	899,830
	イ 共済/追加費用分	481,973
	ウ 保険料(健康保険、介護保険等)	445,755
	エ 互助会等	40,331
	(2) 財団職員(4名)・財団OB職員(4名)・嘱託職員(7名)分	8,388,324
	ア 厚生年金	4,839,171
	イ 保険料(健康保険、介護保険等)	3,298,797
	ウ 互助会等	250,356
	(3) 臨時職員分	1,800,577
	ア 保険料(健康保険、介護保険等)	1,800,577
4	賃金	10,957,464
5	報償費	2,229,760
	(1) 被爆者証言ビデオ	69,000
	ア 図書カード(記念品)	69,000
	(2) 多言語化対応業務	520,800
	ア 証言ビデオ多言語化翻訳監修謝礼	520,800
	(3) 被爆体験記等の朗読事業	694,400
	ア 英語朗読会講師謝礼	74,400
	イ 朗読会講師謝礼	37,200
	ウ 被爆体験記朗読ボランティア活動交通費等	582,800
	(4) 被爆体験伝承者等派遣事業	883,100
	ア 国内派遣謝礼金	883,100
	(5) その他	62,460
	ア 産業医報酬	62,460
6	旅費	6,521,500
	(1) 遺影登録についての広報依頼	48,580
	(2) 証言ビデオ制作	513,840
	ア 県外在住被爆者証言ビデオ収録(中国地方ほか)	513,840
	[ア]職員旅費(中国地方、大阪、東京)	513,840
	(3) 被爆体験伝承者等派遣事業	5,596,650
	ア 国内派遣	4,860,030
	イ 朗読会	457,260
	ウ 被爆体験証言者派遣	279,360
	(4) 被爆体験記等の朗読事業	45,280
	ア 被爆体験記執筆補助に係る聞き取り	45,280
	(5) 情報システム運用保守・予算	209,000
	ア 長崎祈念館との連絡調整会議	209,000
	(6) その他	108,150
	ア 情報展示コーナー改修に係る資料収集	38,700
	イ 企画展のための取材等	69,450
7	消耗品費	3,495,399
	(1) 印刷物等	791,900
	ア 遺影登録チラシ	47,300
	イ 企画展チラシ	68,200
	ウ 学習ワークブック	214,500
	エ 被災地図	44,000
	オ 祈念館案内チラシ等	255,200
	カ 封筒	162,700

内訳書

(2)	施設維持管理用消耗品	312,970
(3)	図書・DVD購入費	393,154
(4)	事務用品等	1,930,559
	ア 複写サービス	150,724
	イ カラー複写サービス	245,358
	ウ 遺影複製	276,830
	エ OA機器用	608,505
	オ その他事務用品	475,604
	カ 新聞購読料	173,538
(5)	職員貸与被服	66,816
8	食糧費	8,822
(1)	接客用飲物代	1,176
(2)	修学講習講師飲物代	7,646
9	光熱水費	13,216,024
(1)	電気料金	11,145,681
(2)	上下水道料金	2,070,343
10	修繕料	38,945,940
(1)	施設・設備修繕	38,945,940
	ア 照明機器修繕 (追悼空間スロープ・エスカレーター天井部・B1・B2諸室・B1・B2非常照明等)	6,679,200
	イ 水盤照明機器修繕 (B2追悼空間水盤照明取替)	3,454,000
	ウ 空調機器修繕 (原本保管庫系・追悼空間系空調設備取替等)	18,865,000
	エ 給排水設備修繕 (屋内・屋外)	2,138,400
	オ 消火設備 (館内修繕)	1,047,200
	カ 建築物・設備修繕 (事務室床張替え、EV乗降口塗装修繕、館名表示板修繕、中央監視装置修繕等)	6,762,140
11	通信運搬費	1,161,779
(1)	切手代	468,200
(2)	遺影登録申込	72,530
(3)	電話料	335,929
(4)	コンピュータ専用線利用料	285,120
	ア Bフレッツ利用料	95,040
	イ 情報システム通信回線使用料	190,080
12	手数料	33,600
(1)	事業用ごみ袋	33,600
13	保険料	348,610
(1)	朗読ボランティアの派遣活動中のスポーツ安全保険	35,200
(2)	施設賠償責任保険料	32,950
(3)	建物損害保険料	280,460
14	委託料	95,106,673
(1)	被爆体験記の収集・整理・公開	442,955
	ア 被爆体験記電子テキスト化業務	394,555
	イ 図書燻蒸業務	48,400
(2)	企画展	4,933,110
	ア 企画展に係る配付物製作業務	107,800
	イ 3面シアター映像制作業務	3,500,200
	ウ 企画展用体験記翻訳業務	940,110
	エ 企画展造作物等制作業務	385,000
(3)	被爆者証言ビデオ制作業務	7,632,940
	ア 県外在住被爆者証言ビデオ制作業務	5,168,940
	イ 証言ビデオデジタル化変換業務	2,464,000
(4)	多言語化対応業務	1,287,218
	ア 被爆者証言ビデオ日本語ガイド分翻訳	960,080
	イ 被爆体験記等翻訳業務	327,138
(5)	被爆体験記朗読事業	5,244,800
	ア オンライン予約システム改修業務	4,730,000
	イ オンライン予約システム脆弱性診断業務	250,800
	ウ 祈念館PR用クリアファイル制作業務	264,000

令和3年度 広島祈念館経理計画と決算額との差

(単位:円)

	経理計画額(A)	収入額(B)	差額(A-B)	差額発生の主な理由(50万以上)
雑収入 ①	0	2,380	▲ 2,380	

	経理計画額(A)	支出額(B)	差額(A-B)	差額発生の主な理由(50万以上)
人件費 ②	102,388,000	86,170,077	16,217,923	
報酬	33,496,000	33,972,782	▲ 476,782	
職員給与	44,352,000	29,183,041	15,168,959	派遣職員の減
災害補償費	0	0	0	
福利厚生費	15,163,000	12,056,790	3,106,210	派遣職員の減に伴う福利厚生費の減
賃金	9,377,000	10,957,464	▲ 1,580,464	臨時職員の増
物件費 ③	224,461,000	196,126,589	28,334,411	
報償費	5,794,000	2,229,760	3,564,240	コロナ禍の影響による伝承者等派遣回数減
旅費	20,500,000	6,521,500	13,978,500	コロナ禍の影響による伝承者等派遣回数減
消耗品費	5,303,000	3,495,399	1,807,601	コロナ禍の影響による配布印刷物の減
燃料費	10,000	0	10,000	
食糧費	54,000	8,822	45,178	
光熱水費	16,943,000	13,216,024	3,726,976	臨時休館による電気料金の減
修繕料	41,932,000	38,945,940	2,986,060	LED照明更新に係る修繕料の減
通信運搬費	1,623,000	1,161,779	461,221	
手数料	51,000	33,600	17,400	
保険料	371,000	348,610	22,390	
委託料	94,159,000	95,106,673	▲ 947,673	情報展示システム改修に係る委託料の増
使用料及び賃借料	26,062,000	25,689,182	372,818	
原材料費	0	0	0	
備品購入費	684,000	0	684,000	備品未購入
負担金、補助金及び交付金	1,000	0	1,000	
公課費	10,974,000	9,369,300	1,604,700	消費税額の減
計④(②+③)	326,849,000	282,296,666	44,552,334	
合計⑤(④-①)	326,849,000	282,294,286	44,554,714	